

第1号様式(第8条関係)

補助金等交付申請書

令和5年 4月 14日

(宛先)
戸田市長

申請者

住所又は所在地

氏名又は団体名
及び代表者氏名

ねこちゃんず8
代表 白川 尚美

戸田市補助金等交付規則の規定により、次のとおり申請します。

補助年度	令和5年度	補助金等の名称	戸田市共創のまちづくり補助金
補助事業の目的及び内容		<p>① 成猫の保護・譲渡ができる保護猫ステーション（活動拠点）を開設する。</p> <p>② 戸田市に多い野良猫を『保護猫』と『家猫』にすることで、野良猫による環境被害を改善し、人と猫が共存できる地域社会をつくる。</p> <p>③ 市内で問題視されている『多頭飼育』の現場調査や飼育改善の指導をし、人と猫の生活崩壊を未然に防ぐ。</p> <p><内容></p> <p>○野良猫が家猫になるまでの経緯</p> <p>捕獲・保護</p> <p>↓ 現地調査後、捕獲機設置※TNR後の再捕獲（病気や怪我をした猫）</p> <p>医療</p> <p>↓ 動物病院にて必要な医療をかける 手術・ワクチン・ウイルス検査・ノミダニ駆除・マイクロチップ等</p> <p>飼育・人馴れ訓練</p> <p>↓ ホームベース（シェルター）または、預かりボランティア宅で飼育</p> <p>里親探し</p> <p>↓ 募集サイト・譲渡会・保護猫ステーションで里親希望者と会い、適切な家庭へ譲渡する</p> <p>譲渡</p> <p>譲渡先へ出向き、アフターフォロー 飼育相談・病院への付き添い、爪切り等</p> <p>○ホームベース（シェルター）の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護猫の飼育（エサやり・トイレ掃除） ・隔離期間の管理やケガ・病気の猫の看護・通院 ・人慣れ訓練 <p>○保護猫ステーションの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕獲（TNR・保護）依頼の受付 ・保護猫とのふれあい（おやつ販売） ・セミナー、研修会の開催 ・飼育相談 ・譲渡会の開催 ・イベント開催 	

<p>補助事業等の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護譲渡数70匹（成猫30匹・子猫40匹） ・ボランティア登録：10名 ・トレーニング・セミナー参加者：20名（年2回） ・TNR啓蒙活動：10箇所（町会・他団体など） ・保護猫ステーション（保護猫と市民の皆様の憩いの場） 利用者：500名 <p>この事業をやることによる成果 戸田市の野良猫・地域猫は格段に減るため、環境被害の緩和、多頭飼育の減少、野良殺処分ゼロになる可能性がある。また、保護猫が家猫になる新しいルートが確立され、市民と保護猫との共存生活が実現する。</p>
<p>補助事業等の対象事業費</p>	<p style="text-align: right;">974,610円</p>
<p>補助金額</p>	<p style="text-align: right;">500,000円</p>
<p>補助事業等の着手年月日 及び完了年月日(予定)</p>	<p>着手 令和 5 年 4 月 1 日 完了 令和 6 年 2 月 29 日</p>
<p>添付書類</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙・活動の流れ 2 見積書 3 2023年度事業計画書・収支予算書 4 2022年事業報告書・収支報告書 5 会則 6 構成員名簿 7 戸田市共創のまちづくり補助金協働団体同意書 8 協働団体会則・名簿

令和5年4月14日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（単独、団体協働事業補助）

(宛先)
戸田市長

団体名 ねこちゃんず8
代表者職・氏名 代表 白川 尚美
所在地

補助種別	<input type="checkbox"/> 単独事業補助 <input checked="" type="checkbox"/> 団体協働事業補助	
新規・継続	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 継続（ 年目）
事業名	目指せ！「戸田市・野良猫ゼロ」活動 ～人と猫が共存するまちづくり～	
実施期間	令和5年 4月 1日 ～ 令和6年 2月 29日	
確定前交付の希望	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない
申請中又は交付予定の他の補助制度	名称	
	実施主体	
連絡担当者	氏名	
	住所	
	電話	
	Fax	
	E-mail	

《団体の概要》

団体名	ねこちゃんず8
ホームページ	ブログ https://profile.ameba.jp/me
設立年月日	令和4年 4月 1日 設立
会員数	14人
年会費	6,000円／1年間
団体の目的	<p>野良猫殺処分ゼロ</p> <p>① TNR・保護・譲渡（野良猫から地域猫・家猫へ）</p> <p>② ホームベース（シェルター）の運営（保護猫の隔離・訓練）</p> <p>③ 保護猫ステーションの運営（市民のふれあいの場の提供・相談窓口の開設）</p>
主な活動実績	<p>① 野良猫の捕獲 捕獲数 76 匹（オス：30 匹／メス：46 匹） 内訳：TNR18 匹／保護・譲渡 48 匹／保護中・譲渡待ち 10 匹</p> <p>② 多頭飼育崩壊現場のレスキュー</p> <p>③ ホームベース（保護猫シェルター）の開設・運営</p> <p>④ 市民からの飼育相談</p>
昨年度の補助金等の援助状況	なし
団体PRなど	<p>地域ねこ（TNR）の啓蒙活動と保護ねこの譲渡をメインに活動しています。</p> <p>戸田市初のシェルター（ホームベース）の運営、保護猫ステーションの新規開設を目指し、一般市民の飼育相談やふれあいの場を提供します。同時に捨て猫・多頭飼育の防止に努めます。</p>

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性

- ① 成猫の保護・譲渡ができる保護猫ステーション（活動拠点）を開設する。
- ② 戸田市に多い野良猫を『保護猫(家猫)』にすることで、野良猫・地域猫による環境被害を改善し、人と猫が共存できる地域社会をつくる。
- ③ 市内で問題視されている『多頭飼育』の現場調査や飼育改善の指導をし、人と猫の生活崩壊を未然に防ぐ。
※現場調査は、彩の国動物愛護推進員であるメンバーが埼玉県から依頼されることがあります。また地域の方からの依頼があった場合も、現場に出向き相談に乗っています。

2 事業を実施するに当たっての現状や課題

戸田市は野良猫が広い範囲で生息しており環境被害の苦情や捕獲・保護の要望は多いが、対応できる個人・団体が少ないのが現状である。そのため、避妊・去勢手術の知識がない市民自らが餌をやり、野良猫を増やしてしまったり、捕獲後、家に引き入れて『多頭飼育』となってしまうケースがよくある。TNR をしても地域猫が多いエリアは環境被害を招くため、成猫の保護・譲渡ができる活動拠点が急務である。

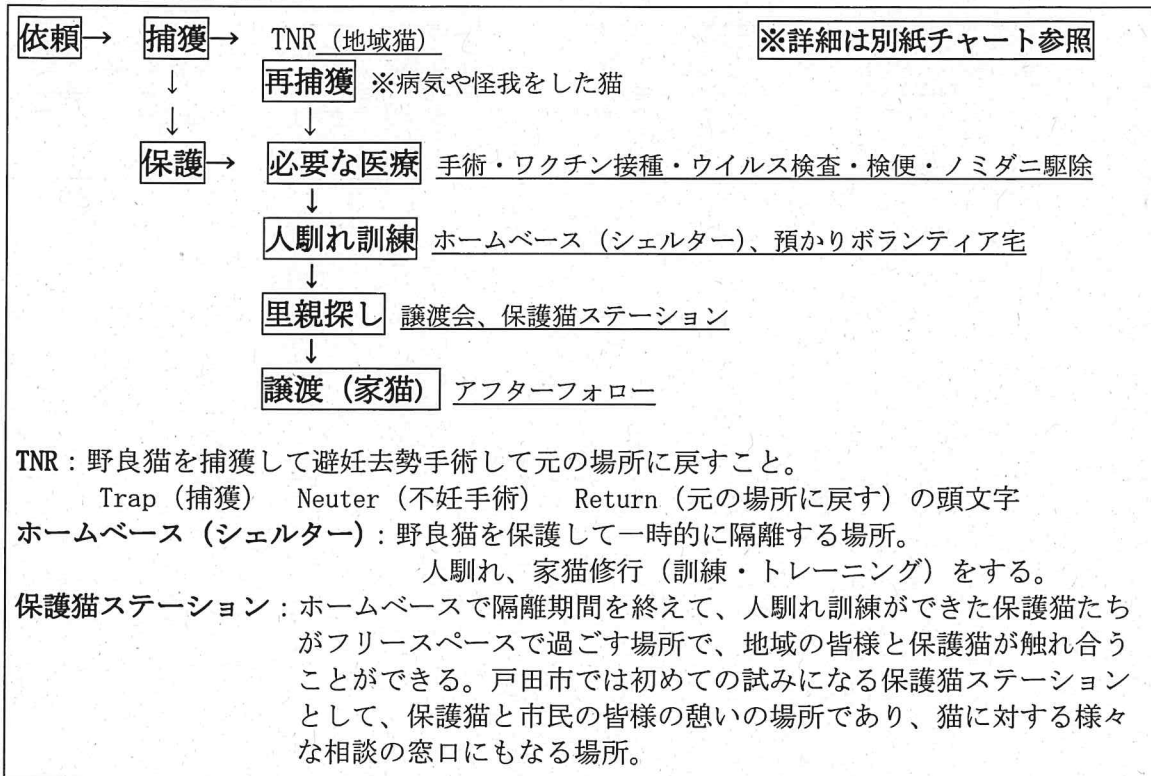
この事業をやらなかった場合の一年後：

猫は1度におおよそ5匹の子猫を産むと考えると、1組の猫から1年後に20匹以上の子猫を産みます。産まれた子猫は早ければ、6ヶ月で孫猫を産めるようになるため、生まれた子猫の半分が雌猫であった場合、孫猫は最大50匹以上になります。

○1年間で増える野良猫

46匹（昨年捕獲したメス猫）×約50匹（生まれる子猫・孫猫）＝約2,300匹／年

3 事業の具体的内容



4 事業の実施体制

	実施内容	場所	期間	活動人数
①	捕獲	依頼場所	約2週間	1~2名
②	手術・医療	動物病院	約2日	1~2名
③	飼育・訓練	ホームベース・預かり宅	2週間~半年	4~5名
④	里親探し・譲渡	サイト・会場・ステーション	1日~3ヶ月	6名前後
⑤	アフターフォロー	里親宅	1~5ヶ月	1~2名
⑥	飼育相談	依頼主宅・ステーション	1日~1ヶ月	1~2名
⑦	保護猫ステーション運営	保猫ステーション	無期限	5名
⑧	研修会・セミナー	各施設	2~3回/年	4~5名

① ⑦は本団体が主体で実施
 ④ ⑥ ⑧は協働団体・ピコ22が主体で実施
 ② ③ ⑤は両団体実施
 ※それぞれのご依頼、ご相談は、保護猫ステーションにて受け付ける。
 ※シェルター：ホームベース (隔離場所・人馴れ、家猫修行の場所)
 ※ステーション：保護猫ステーション (保護猫と人の憩いの場)

5 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
4月	捕獲・保護・訓練・譲渡準備
5月	捕獲・保護・訓練・譲渡準備・譲渡会
6月	保護猫ステーション開設・譲渡会
7月	TNR啓蒙・セミナー開催・譲渡会
8月	広報活動・訓練・譲渡・譲渡会
9月	広報活動・訓練・譲渡・譲渡会
10月	捕獲・保護・訓練・譲渡準備
11月	捕獲・保護・訓練・譲渡準備・譲渡会
12月	捕獲・保護・訓練・譲渡準備・譲渡会
1月	TNR啓蒙・セミナー開催・譲渡会
2月	広報活動・訓練・譲渡・譲渡会
3月	広報活動・訓練・譲渡・譲渡会

6 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

- ・保護譲渡数 70 匹（成猫 30 匹・子猫 40 匹）※マイクロチップ装着
- ・ボランティア登録：10 名
- ・トレーニング・セミナー参加者：20 名（年 2 回）
- ・TNR 啓蒙活動：10 箇所（町会・他団体など）
- ・保護猫ステーション（保護猫と市民の皆様の憩いの場）利用者：500 名

この事業をやることによる成果

戸田市の野良猫・地域猫が格段に減るため、環境被害の緩和、多頭飼育の減少、野良猫殺処分ゼロになる可能性がある。

また、保護猫から家猫になる新しいルートが確立され、市民が保護猫を迎え入れるきっかけとなり、猫との共存生活を実現することができる。

7 補助終了後に当該補助金に頼らずに事業を継続していく方法

- ・保護猫の譲渡金による運営

譲渡金：子猫 20,000円～45,000円／1匹

成猫 36,000円～42,000円／1匹

- ・継続的な寄付金：募金箱の設置、個人・企業の支援者

- ・支援物資の確保：フード・猫砂など

- ・イベント、セミナーの収益：物販・フリーマーケットなど

- ・保護猫ステーションの収益：キャラクター品、飲料、おやつの販売など

保護猫活動を運営していくためにかかる費用を地域の皆様に知っていただくことにより、一人でも多くの皆様から事業に賛同いただける活動を目指し、誰もが行ってみたいと思われる保護猫ステーションを通じて、市民の皆様にも愛される活動を続けていく。

《収支予算書》

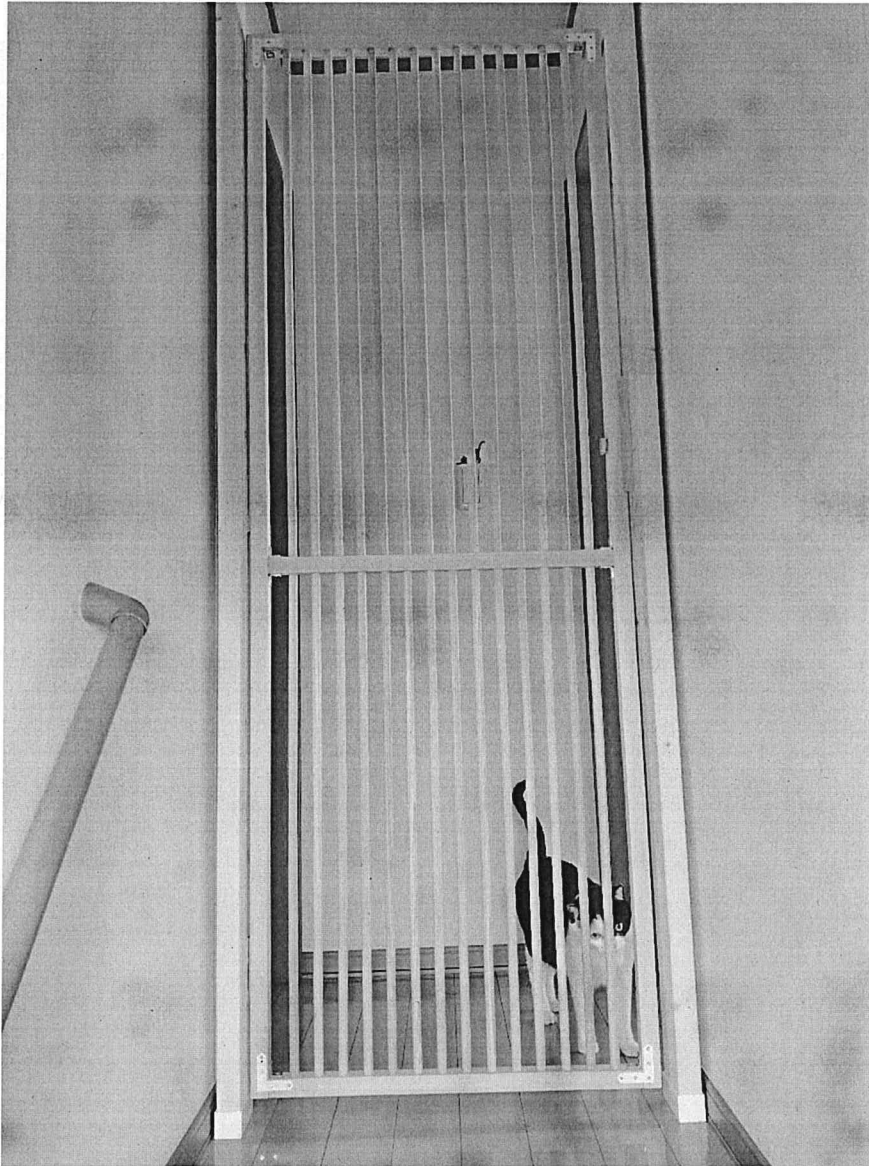
【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	500,000 円	
	その他		
自己資金		100,000 円	50,000 円×2 団体
会費		60,000 円	6,000 円×10 名
譲渡金		2,220,000 円	成猫 30 匹・子猫 40 匹
協賛金・寄附		250,000 円	企業継続寄付金 10,000 円×10 社 一般寄付金 100,000 円 募金箱設置 50,000 (10 か所)
その他		139,110 円	物販 (キャラクターグッズ、イベント収益・おやつなど)
合 計		3,269,110 円	

【支出】

※見積あり

	科 目	予 算 額	内 訳	
補助 対象 経費	原材料費	525,000 円	エサ代 (1 匹@約 7,500 円×70 匹)	
	消耗品費	100,000 円	猫砂代 (1 匹@約 1,000 円×70 匹) 70,000 円 飼育消耗品 (ホームベース) 10,000 円 飼育消耗品 (ステーション) 20,000 円	
	委託費	300,000 円	※チラシ作成 (ステーション用) 38,500 円 ※脱走防止ゲート設置工賃 16,500 円 医療費 (マイクロチップ代・3,500 円×70 匹) 245,000 円	
	修繕費	47,300 円	※脱走防止ゲート	
	印刷製本費	2,310 円	※チラシ印刷 (ステーション用)	
	小 計	974,610 円	内 訳	補助金申請額 : 500,000 円 自主財源 : 474,610 円
補助 対象 外 経費	水道光熱費	60,000 円	電気 45,000 円 / 水道 15,000 円	
	通信運搬費	10,000 円	宅配便・郵便代	
	印刷製本費	8,000 円	チラシ印刷 (ピコ 22 譲渡会用)	
	委託費	2,166,500 円	医療費 ○成猫メス 41,450 円×15 匹=621,750 円 ○成猫オス 35,400 円×15 匹=531,000 円 ○子猫手術未 15,800 円×35 匹=553,000 円 ○子猫手術済 (手術費含む) 43,150 円×5 匹=215,750 円 ○マイクロチップ (里親半額負担分) 3,500 円×70 匹=245,000 円	
	交通費	30,000 円	譲渡時高速代、パーキング等	
	雑費	20,000 円	コピー、写真代、手数料等	
	小 計	2,294,500 円		
	合 計	3,269,110 円		



脱走防止ゲート（設置イメージ）



目指せ！『戸田市・野良ねこゼロ』活動



～活動の流れ～

自治体・一般市民・他団体からの依頼

依頼先(自宅・餌場・捕獲場所)の下見、調査

